



つくば通信

⑩



アフリカのボツワナと 8頭かな。驚いて、單
いう国から乗日した女性
農業普及員の方と病院の「牛」と聞き直しました。
待合室で芸能人の離婚のたが、普通に「そり、牛」。
ニュースを見ながらこん私は自分の家の牛。頭が
な会話をしました。
「もしも離婚する場合、想像して、ちょっと困る
あなたの国ではどうなるなあ」と笑ってしまった。
女はしばらく考えた後、「うん、牛7頭、いやうです。

来日する研修生たちと親しくなって仕事の後など休憩の時間によく話題になるのは恋愛や結婚そして家族のことです。私はまだ結婚も経験しておらず、少子化の解消にも貢献していくかもしれません。10代で結婚や出産

団樂の中から

も珍しくなく、
寿命も日本より
ずいぶん短い国
から来る方々に、
とて、30歳を過
ぎても独身でい
る私は不思議な
存在のようです。身内も
心配して腫れ物に触るよ
うに避けていたる話題が
もしれないのに、その家
族を代弁してもおつりが
くるまい、彼らの邪氣の
研修生ひの国樂風景です。
左から中国 モンゴル、
筆者 モンゴル、ペレス
チナの方々です

三日まで相手に会うことなく、式の最中にペールをぬぐって初めてご対面のこと。ご対面の日のうれしかった瞬間をウキウキしながら語つてくれることもあります。私も含む習慣の異なる国の人たちの「好みではなかつたら? 恋愛しないの?」というような質問にも「尊敬している家族が選んだのだから好きになる。結婚してから恋愛をする」ときっぱり。また、結婚式のお祝いを何日にもわたって行う国の人々は、日本の披露宴が約

なった奥さまの若いころの写真を財布や手帳から取り出しては思い出を語ります。日本でも最近では写真を見せ合ったり、携帯電話の待ち受け画面を大切な人の写真にして持っていたりという方もいらっしゃるようです。

離れているときこそ、家族や恋人の存在は日々の原動力になっているんだなあ、お話をうかがいくながらいつもそんな風に感じるのである。(書簡中一ティネーター)

ない質問は容赦ありません。そしてアドバイスも國によつてやがてあがむです。中南米や東南アジア、アフリカなど自由に恋愛をする二つの文化圏で、西ヨーロッパ風の恋愛文化を理解するうえで、2時間と聞いて大変驚いたしました。「結婚」という切り口だけでも取り上げたかったのですが、どうもこのあたりは、もう少し詳しく説いて貰いたいと思います。